

学校だより



No. 5

(校長室から)R4. 6. 2

【2年生に案内されて、学校探検をする1年生】

朝夕はまだ涼しいものの、日中は強い日差しで気温が上がり、熱中症が心配な季節となってきました。昨日から6月に入りました。6月といえば梅雨のイメージですが、日本では「水無月」という呼び名があります。しかし、これは「水が無い月」という意味ではありません。興味をもった人には是非自分で調べてほしいです。ちなみに今年の四国の梅雨入りは、5月末～6月12日頃と予想されているようです。



6月3日には、西麻植小学校で鴨島町の6小学校による体操発表会が開催されます。本校からは、6年生4名、5年生8名の計12名の児童が出演します。この発表会に向けて体育主任や担任を中心に、5月中旬から練習を続けてきました。子供たちの中には体操教室での経験者もいれば、体育の授業以外でやったことのない子もいましたが、練習を通して、それぞれできる技の数や完成度を向上させていました。



ところで、小学校の6年間には実にさまざまなことを学習します。算数や国語のようにそのまま生活に役立つ学習もあれば、跳び箱運動や鉄棒運動のように、あまり実生活では必要としない学習もあります。では、なぜ跳び箱運動や鉄棒運動などを小学校で学習するのでしょうか？体力の向上や、根気強さをつけるため・・・など、いろいろな理由が考えられますが、私は「できた喜びを味わわせるため」というのも、学習する一つの目的と考えます。もちろん他教科でも「できた喜び」を味わうことはありますが、特に器械運動は、「できる」「できない」がはっきりしているので、「できた!(跳べた!, 回れた!)」瞬間に大きな高揚感、満足感が味わえると思います。

これまでの練習では、技が思ったようにできず、悔し涙を流す子もいました。それだけに技ができたり、完成度が高まったことを感じたりした時の子供たちの笑顔の輝きは、見ている私たちもうれしい気持ちにしてくれます。日々の学習においても、先生方は子供たちに「できた喜び」を味わわせようと、日々頑張ってくれています。子供たちのいろいろなできた喜びに気づき、これからもいっしょに喜びを分かち合っていきたいと思います。

